

学校教育目標

「互いを認め合い、すすんで学び続ける児童の育成」

めざす子ども像

「進んで学ぶ子」
＜「知」確かな学力＞

「互いの心を大切にする子」
＜「徳」豊かな心＞

「互いの命と体を大切にする子」
＜「体」健やかな体＞

めざす学校像

- ・子どもの命を守り切る学校
- ・互いを大切にし、一人一人が輝く学校
- ・社会の基本的な規範に基づく、規律ある学校
- ・地域の人・もの・文化を生かす学校

笑顔いっぱいの小野小学校

めざす教職員像

- ・高い志と使命感を持ち、自覚ある行動がとれる教職員
- ・子どもの心に寄り添った指導ができる教職員
- ・自ら学び続け、高めあうことができる教職員
- ・チームワークで子どもを見守り、育む教職員

＊「互いに認め合う」児童を育成するために ＜自ら律する力＞

- ・挨拶の励行や決まりの順守、公共の精神に基づく態度を養う。 ・人の話をしっかり聴く態度を養う。
- ・お互いを認め合い、そのよさを伸ばしつつ、共通して守るべきものは身に付ける「**道徳教育**」を推進する。
- ・個が活き、個が活かされる学級経営を目指す。 ・認め合い、励ましあう集団づくり
- ・子どもを深く見つめ、良さを見つけ、励ます指導を継続する。

＊「すすんで学び続ける」児童を育成するために ＜自ら学ぶ力＞

- ・学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう姿勢をはぐくむ。
- ・反復学習・家庭学習の工夫と充実を図り、基礎・基本の習得と定着をめざす。 ・自分の考えを、記述・発信する力を育成する。
- ・言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力の効果的な育成を図る。 ・探究的な学習を充実させる。
- ・本時の「めあて」「見通し」を確認し、協働的な「まとめ」と振り返りを行い、「わかる喜び」が実感できる授業を展開する。
- ・教育実践とICT活用を適切に組み合わせ、協働的な学びと個別最適な学びの実現をめざす。

育てたい資質・能力

- ◎＜表現力(コミュニケーション能力)＞相手意識をもって、話を聞いたり伝えたりする力
- ＜課題発見・解決能力・主体性＞課題を設定し、解決の方法を考え、粘り強く取り組む力
- ＜情報収集・分析・解釈能力＞情報を収集・分析・判断し、まとめる力

道徳教育、規範意識の醸成
自己有用感と自分を律する力

- ・しなやかな道徳教育
- ・よりよい人間関係の構築
- ・体験活動を通じた道徳的価値の自覚
- ・情報モラル、情報機器からの危険回避

学習環境の整備

美しい学校

- ・自主的な美化活動
- ・設備や掲示物等の整備
- ・言語環境
- ・図書館教育の充実

校内研究

思いを伝えあい、考えを深め合える
授業づくりを目指して

- ・言語活動の充実（思いを伝えあう）
- ・子どもが主体となる学習の展開（考えを深め合う）
- ・基礎基本の習得と定着
- ・家庭学習の充実と自学自習の習慣化

生徒指導

自己指導能力の育成

- ・自己決定の場を与える
- ・自己存在感の感受
- ・共感的な人間関係を育成
- ・安心・安全な風土の醸成
- ・児童理解・情報交換と共通理解
- ・子どもを深く見つめ、良さを見つけ、認め・励ます指導

人権教育

他人を思いやる「想像力」

- ・総合育成支援教育
- ・同和教育
- ・外国人教育

健康・保健・安全教育

心身の健康、体力の向上

- ・体力向上を目指した取組
- ・保健指導・安全指導
- ・正しい生活習慣の定着
- ・防災教育

保 幼 小 中連携

学びをつなぐ

- 小中一貫教育目標の設定
- 幼保小接続（架け橋プログラム）
- 子どもの共通理解と目指す子どもの姿の共有

家庭との連携

家庭学習との接続

- 学習予定表・自学自習の習慣化
- 授業参観・懇談会・学校行事・PTA
- 学校便り・ホームページ等での発信

地域との連携

開かれた学校づくり

- 地域人材の活用と地域の特色を活かした授業
- 地域行事への参加と地域への貢献
- 学校運営協議会

R6年度